

平成28年度 文化講演会

地獄の絵と語り



日本における地獄思想の全体的な流れのなかで、〈立山の地獄思想〉はどのように位置づけられるのか。地獄研究分野における気鋭の研究者が、立山曼荼羅に描かれる地獄の図像を分析しつつ、最新の地獄の世界をわかりやすく解説します。

【立山曼荼羅】(来迎寺本・部分)

日時

平成28年8月6日(土) 午後2時～午後4時

場所

立山町元気交流ステーション みらいぶ(富山地方鉄道五百石駅舎)

※当日は、公共交通機関をご利用ください。


講師

田村正彦氏(明治大学兼任講師)

1972年、岡山県津山市生まれ。専門は日本中世文学。『描かれる地獄 語られる地獄』(三弥井書店、2015年)の著者。

定員

100名(先着順)・入場無料

- 主催 富山県 [立山博物館]
- 後援 立山町、北日本新聞社、富山新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ
 富山放送局、滑川中新川地区広域情報事務組合 (Net3)

2016年
8月11日
山の日施行

平成28年度特別企画展・開館25周年

立山 × 地獄展

第I部 閻魔の眼光

第II部 地獄の閃光

7月16日(土)～9月4日(日)

9月17日(土)～11月13日(日)



富山県 [立山博物館]
TATEYAMA MUSEUM of TOYAMA

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦畷寺 93-1
TEL076-481-1216 開館 9:30～17:00 (入館は 16:30 まで)